

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東
 コード番号 7748 URL <http://www.holon-ltd.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 新田 純
 問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	573	71.4	124	—	124	—	113	—
25年3月期第2四半期	334	△11.7	△138	—	△144	—	△99	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	33.89		—					
25年3月期第2四半期	△29.67		—					

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,238	524	42.3
25年3月期	1,044	411	39.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 524百万円 25年3月期 411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額となっております。当該製品は納品までの製造工程を管理し計画通り計上できるよう努めておりますが、得意先の検収のタイミングや顧客都合による仕様または納期の変更で売上を予定していた案件について検収が遅れた場合、当社の業績は大きく変動する可能性があります。

従って、月次ごと及び四半期ごとの売上計上時期の見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240	2.4	135	123.3	128	105.4	120	15.5	35.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	3,340,500株	25年3月期	3,340,500株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	—株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	3,340,500株	25年3月期2Q	3,340,500株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政府の経済政策や日本銀行の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出や生産は持ち直し、景況感に改善が見られました。一方で円安と原油高に伴う原材料価格の上昇や電気料金の値上げ等の懸念材料があるものの、国内消費は底堅く、景気は全体に上向きの動きがあると見られております。

半導体業界におきましては、スマートフォン(スマホ)やタブレット(多機能携帯端末)など携帯・通信分野で使用する半導体の需要は堅調に推移しており、今後の設備投資拡大が期待される状況が続いております。

このような状況のもと、当社は半導体産業及び関連事業分野における最先端技術を支える検査計測装置を中心に事業展開しております。当社主力製品のマスクCD-SEMの最新鋭機「Z7」につきましては、電子ビーム制御系を一新し最新のソフトウェアを搭載して高性能化を実現したことで顧客より高い評価をいただいております。当第2四半期累計期間におきましても同機を受注し、第3四半期累計期間の売上計上を予定しております。

また、当社の研究開発事業がNEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)のイノベーション実用化ベンチャー支援事業に係る助成事業に採択されたことから、新たな市場開拓に向けた営業活動を進めております。

上記の結果、当第2四半期累計期間の売上高は573百万円(前年同四半期比71.4%増)となりました。損益につきましては、営業利益124百万円(前年同四半期は138百万円の営業損失)、経常利益124百万円(前年同四半期は144百万円の経常損失)及び四半期純利益113百万円(前年同四半期は99百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて20.8%増加し、1,075百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が148百万円減少した一方、現金及び預金が292百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて5.9%増加し、163百万円となりました。これは、無形固定資産が12百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて18.6%増加し、1,238百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて20.6%増加し、585百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が19百万円減少した一方、短期借入金が144百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて12.9%減少し、128百万円となりました。これは、長期借入金が15百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて12.8%増加し、714百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて27.5%増加し、524百万円となりました。これは、利益剰余金が113百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ、292百万円増加し(前第2四半期累計期間は149百万円の減少)、557百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は179百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は113百万円)となりました。これは主に、たな卸資産の増加が43百万円あった一方で、税引前四半期純利益が124百万円、売上債権の減少が148百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は1百万円)となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が15百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は127百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は34百万円)となりました。これは主に、短期借入金の増加が144百万円あったことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間はおおむね計画通りであるため、平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	264,523	557,007
受取手形及び売掛金	444,632	295,923
仕掛品	156,468	196,215
原材料	18,696	22,197
その他	5,862	3,891
流動資産合計	890,184	1,075,234
固定資産		
有形固定資産	108,673	103,502
無形固定資産	15,937	27,991
投資その他の資産	29,834	32,056
固定資産合計	154,444	163,550
資産合計	1,044,629	1,238,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,830	207,951
短期借入金	70,000	214,000
1年内返済予定の長期借入金	31,430	30,600
未払法人税等	6,981	13,395
賞与引当金	6,566	16,058
製品保証引当金	40,000	41,000
その他	102,392	62,237
流動負債合計	485,201	585,242
固定負債		
長期借入金	67,870	52,570
退職給付引当金	80,176	73,422
その他	—	2,954
固定負債合計	148,046	128,946
負債合計	633,247	714,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	635,681	635,681
利益剰余金	△916,662	△803,447
株主資本合計	411,381	524,596
純資産合計	411,381	524,596
負債純資産合計	1,044,629	1,238,785

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	334,562	573,368
売上原価	285,086	251,444
売上総利益	49,476	321,924
販売費及び一般管理費		
役員報酬	18,133	17,091
給料及び手当	26,357	31,323
研究開発費	20,804	34,920
修繕維持費	14,062	1,789
製品保証引当金繰入額	7,605	11,749
その他	101,057	100,702
販売費及び一般管理費合計	188,020	197,577
営業利益又は営業損失(△)	△138,544	124,346
営業外収益		
受取利息	28	22
為替差益	—	2,989
その他	27	27
営業外収益合計	56	3,039
営業外費用		
支払利息	2,986	3,090
為替差損	2,403	—
その他	162	76
営業外費用合計	5,552	3,166
経常利益又は経常損失(△)	△144,040	124,219
特別利益		
補助金収入	46,075	—
特別利益合計	46,075	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△97,964	124,219
法人税、住民税及び事業税	1,145	11,005
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△99,109	113,214

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△97,964	124,219
減価償却費	23,606	14,935
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,515	9,491
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,000	1,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,800	△6,754
受取利息及び受取配当金	△28	△22
支払利息	2,986	3,090
為替差損益(△は益)	1,511	△3,377
売上債権の増減額(△は増加)	△99,967	148,708
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,746	△43,748
仕入債務の増減額(△は減少)	87,189	△24,116
前受金の増減額(△は減少)	14,425	250
未収消費税等の増減額(△は増加)	△8,290	3,559
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,844	13,718
預り金の増減額(△は減少)	△44,930	△1,557
その他	△8,732	△52,370
小計	△107,977	187,025
利息及び配当金の受取額	28	22
利息の支払額	△3,253	△3,446
法人税等の支払額	△2,290	△4,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,492	179,401
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178	△135
無形固定資産の取得による支出	—	△15,495
敷金及び保証金の差入による支出	△1,434	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,612	△15,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△24,000	144,000
長期借入金の返済による支出	△10,140	△16,130
リース債務の返済による支出	—	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,140	127,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△639	1,154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△149,884	292,483
現金及び現金同等物の期首残高	280,337	264,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,452	557,007

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。